

有限会社 将基酪農 鮎滝ファーム

■生乳、仔牛、堆肥の生産・販売

約850頭を飼育する四国最大級の酪農企業。
若者が活躍できる場づくりも目指して。



牛たちの飼料をフォークリフトで運搬。
ひと塊で1トンほどの重さがあり、約
850頭で1日約30トンを与えます。



大切に育てられているので人懐っこい、ホルスタイン種の乳牛たち。
日々、牛たちの様子を見ながら不調を発見するのも大事な仕事です。

年間約7000トンの生乳を出荷。

1965年にさぬき市の将基地区で酪農をスタート。約250頭まで増頭した後に、さらなる経営拡大のため2013年に高松空港に近い鮎滝へ移転し、現在は3倍以上の約850頭に。牛乳の原料になる生乳を1日約20トン、年間で約7000トン生産し、出荷量は四国随一です。さらに、仔牛の出荷や堆肥の販売も行っています。

成牛からは毎日搾乳し、餌やりや種付け、体調不良やケガをした牛の治療もサポート。仔牛には哺乳、餌と水やりなどを行います。大規模牛舎は自然換気が難しいため、トンネル換気で空気を循環して夏場の温度上昇と湿気、臭いも防ぎ、牛にも作業する人間にもストレスの少な

い環境を実現。病気予防のためには牛舎を清潔に保つことも重要で、清掃の際に発生する大量の糞尿を発酵させ、堆肥にして敷料として再利用したり、農家へ販売もしています。

移転後の規模拡大に伴い、若手社員が急増。その若手酪農家たちが夢を持って能動的に働けるように、「働き方改革宣言」を掲げて実労働時間の削減に取り組み、社員全員で作業マニュアルの作成も行っています。



飼育頭数が多いので、エサやりなどには機械も活用。



Staff Voice

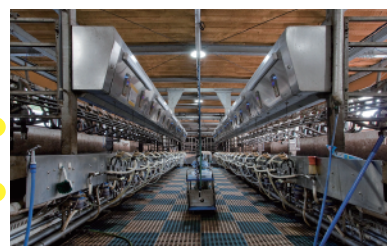
牛にやさしい牧場づくりが目標。

親牛チーム 矢野 拓海さん

大阪の農業人フェアで将基酪農と出会い、鳥取県の農業高校を卒業後に香川へ移住しました。2交代制で1日の拘束時間が短く、牛の買い付けなど重要な仕事も若手に任せられるので働き甲斐があります。牛はかわいいし、様々な飼育法を試していける農業らしい面白さもあります。牛にストレスのない酪農が目標です。



ひづめの病気を治療する様子。重い病気やケガは獣医に往診してもらいますが、軽症の場合は社員がケアします。



搾乳場。朝夕2度に分けて、牛をここに移動させて乳を搾ります。



年間で800～900頭の仔牛が誕生。
牛の出産助もスタッフが行います。



若い力とともに新しい酪農に挑戦。

経営拡大し、人も育ってきたこれからが「やりたいことができる時期」です。今後は、消費者も労働者も密集している都市周辺での牧場経営なども視野に、新しい酪農を試みていきます。若手が挑戦できる場を整え、いい結果を出して皆で喜びを共有したいですね。

代表取締役 佐々木 英樹

Company Profile

本社：香川県さぬき市長尾東138
鮎滝ファーム：香川県高松市香川町
安原下第一号184
☎ 087-840-5070 FAX 087-840-5071
http://shogi-dairy.jp/
設立 ■ 1965年9月
資本金 ■ 6,000万円(2018年10月現在)
従業員数 ■ 35名(2018年10月現在)